

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **㊄ 注意** は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

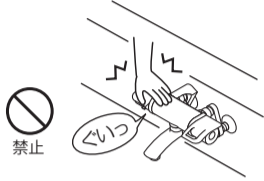
㊄ この絵表示は、してはけない「禁止」の内容です。

㊄ この絵表示は、「接触禁止」の内容です。

! この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

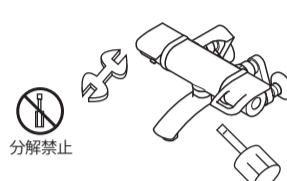
㊄ 注意

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



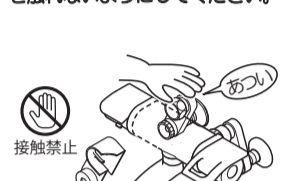
器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。



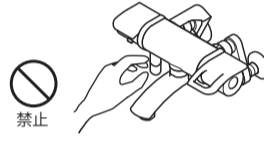
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

湯側ソケットは給湯側の為、高温になっています。高温部に直接肌を触れないようにしてください。



やけどをするおそれがあります。

水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。
(寒冷地仕様の場合)



水抜き栓をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。



確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。



ゆっくり回さないとやけどをするおそれがあります。

お使いになる前に、「カラン」側か「シャワー」側かを吐水切換ハンドルで確認してから湯をお使いください。



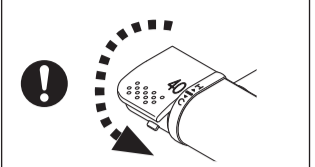
確認しないで「カラン」と「シャワー」を間違えると、やけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いのときにはカランは高温になっています。直接肌を触れないでください。



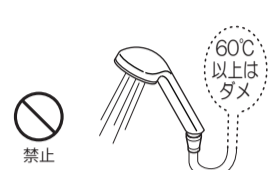
やけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻しておいてください。



戻さないと次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

シャワーには60℃以上のお湯を通水させないでください。



器具が破損し、やけどをするおそれがあります。

シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。



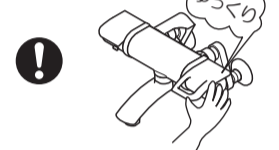
確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。



水を流さないと次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

吐水切換ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。



ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。



ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
(寒冷地仕様の場合)



水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。配管などの解氷の為、解氷機をご使用の場合は水栓部には絶対に通電しないでください。

やけど、漏水をした場合の処置

やけど

やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。

漏水

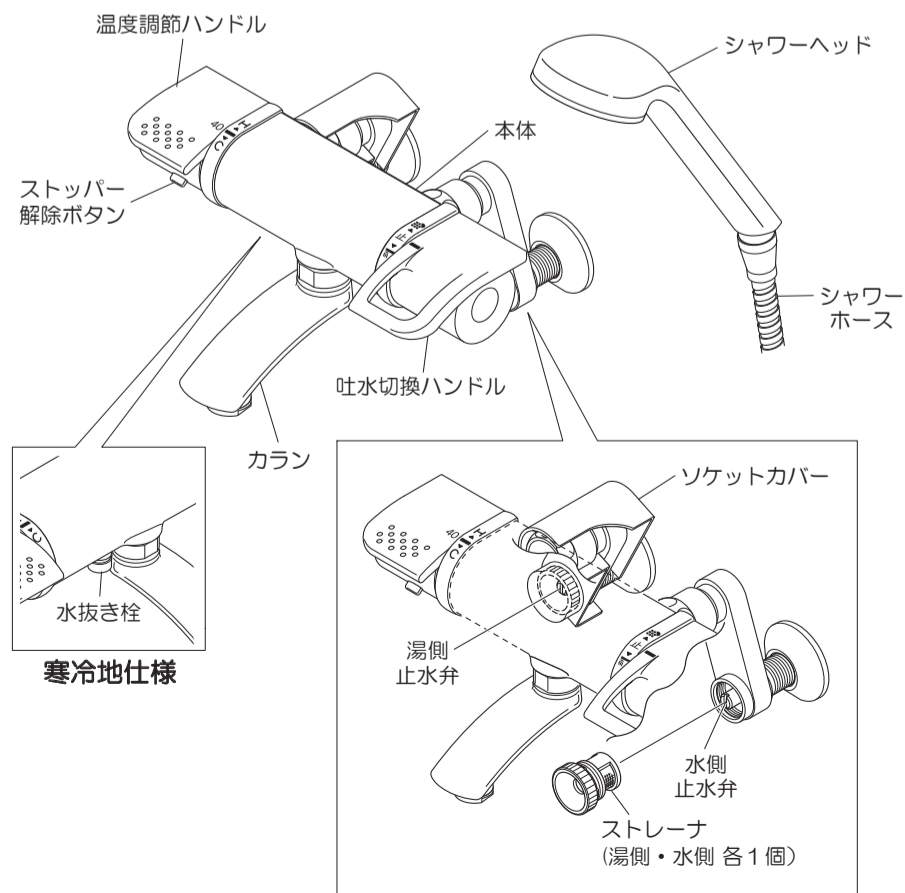
漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

ご使用の前に

㊄ 給湯機の使用上のご注意

- 給湯機の給湯温度は、器具から吐水する温度より10℃以上高くしてください。安全に長くお使い頂く為に約60℃を推奨します。
- 吐水切換ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- 吐水切換ハンドルを全開にするとう水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は、吐水切換ハンドルで調節を行ってください。)
- 給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度を少し下げてください。(瞬間型の場合)

名称



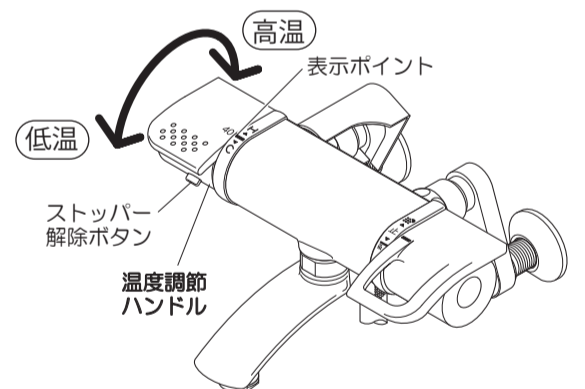
使用方法

温度調節

温度調節ハンドルを下へ回すと、低温、上へ回すと、高温の湯水になります。ハンドルの目盛「40」を目安にして、表示ポイントに合わせます。高温に回しますと、目盛「40」を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。(温度：約42～45℃) それ以上の高温を出す時は、ロック解除ボタンを押しながら回してください。使用後は目盛「40」以下に戻してください。

【**㊄ 注意1**】
目盛は温度表示ではありません。目盛は温度調節の目安としてください。

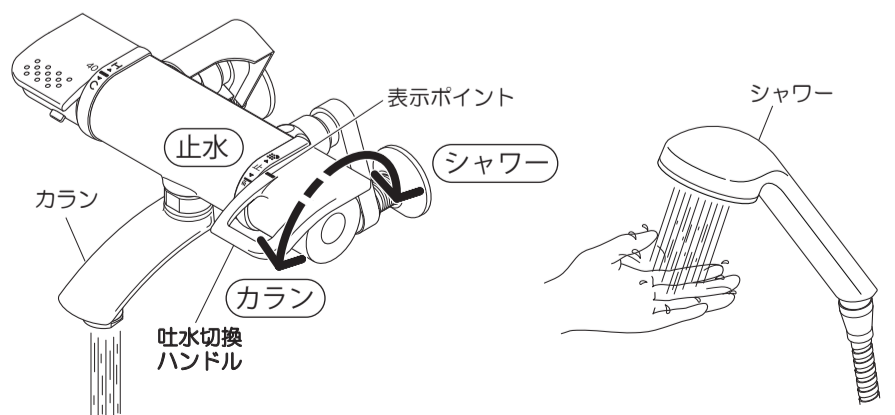
【**㊄ 注意2**】
本製品は最高吐水温度規制商品(約50℃)となっていますが、給水・給湯圧力と温度により、最高吐水温度が変わる場合があります。



吐水切換

吐水切換ハンドルを下へ回すと、カランから湯水が出ます。上へ回すと、シャワーから湯水が出ます。吐水切換ハンドルの表示ポイントを「止」に合わせると止水します。

【**㊄ 注意**】・吐水切換ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー(衝撃音)が発生することがあります。
・シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
・シャワー使用中は湯温、湯量の調節はしないでください。操作を誤ってやけどをするおそれがあります。



日常の保守・点検・お手入れ

△ 日常の点検・ご確認

- 定期的に配管の周り(点検口内)を見て、水漏れがないか確認してください。怠りますと、部品の劣化、磨耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。日頃から時々温度調節ハンドルを回してください。
- 吐水切換ハンドルを長期間回さずに使用すると、機能部に水あかなどが付着し、吐水切換機能が損なわれるおそれがあります。日頃から時々吐水切換ハンドルを回してください。
- カランを長期間回転させずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなる場合があります。無理に回そうとすると水漏れの原因になりますので、日頃から時々カランを左右に動かしてください。

ストレーナの清掃方法

ソケットのストレーナ

ソケットのストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

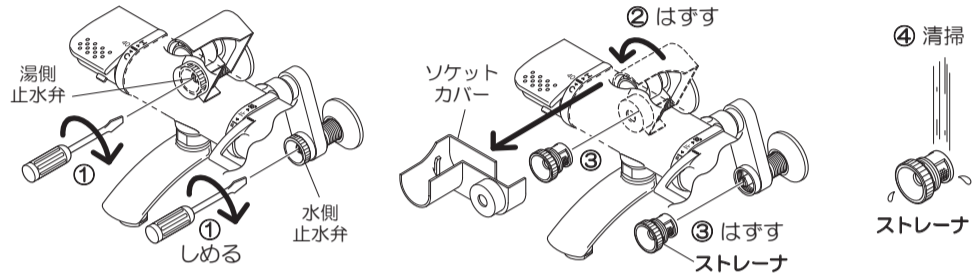
【△ 注意】ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① ソケットの止水弁(湯水2カ所)又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② ソケットカバーを反時計回りに回してから、手前に引いて取りはずします。
- ③ 湯側・水側のストレーナ(2個)を取りはずします。
- ④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。

※「止水弁の調節方法」にならって、流量調節を行ってください。

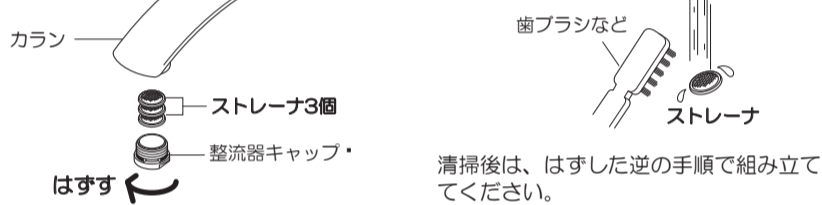
また、ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを「カラン」側にしてください。



カランのストレーナ

カランのストレーナがたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ① 整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナ(3個)を取りはずします。
- ② ストレーナをブラシで水洗いします。



5

水抜き方法

【△ 注意】凍結が予想される際は、下記の手順に従って水栓金具の水抜きを行ってください。怠りますと、凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

〈寒冷地仕様水栓の場合〉

- ① 1.家屋の元栓を締めます。
2.家屋側の配管に水抜き栓がある場合は、水抜き操作を行ってください。
- ② ソケットカバーを反時計回りに回してから、手前に引いて取りはずします。
- ③ 吐水切換ハンドルを「カラン」側にします。
- ④ 水抜き栓(1カ所)とストレーナ(2カ所)を開けて水を抜きます。
- ⑤ 温度調節ハンドルを高温側に回し、次に低温側に回して水を抜きます。
- ⑥ シャワーヘッドを床におき、吐水切換ハンドルを「シャワー」側にして水を抜きます。

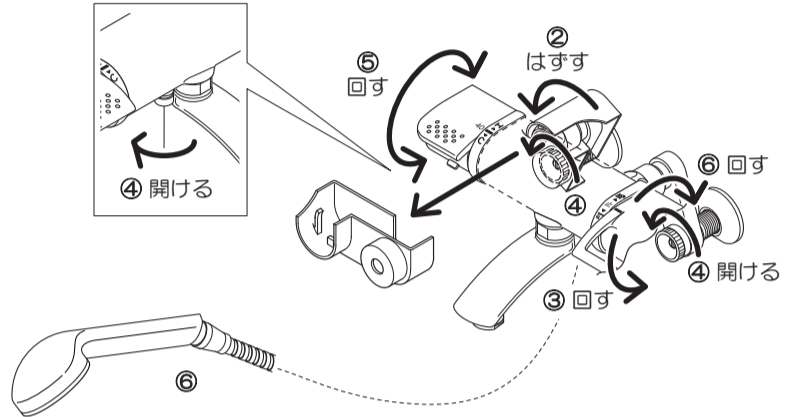
【お願い】水抜き後、再通水する前に水抜き栓がしまっている事を確認してください。

再通水の時に水が出ない場合

吐水状態でそのまましばらくお待ちください。

※これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象で、異常ではありません。

【△ 注意】解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。



〈一般地仕様水栓の場合〉

【△ 注意】凍結のおそれがある際は、以下の処置を行ってください。

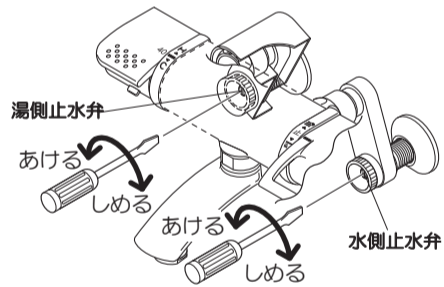
- ① 水栓より少量の水を出しておきます。
- ② 配管部などに布を巻きます。

【△ 注意】解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。

6

止水弁の調節方法

流量調節は右記の方法で行ってください。



お手入れのしかた

【軽い汚れの場合】

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、かわいた布でふき取ります。

【ひどい汚れの場合】

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、やわらかい布で汚れを拭き取ってから乾いた布で拭き拭きます。



【使ってはいけないもの】

製品には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。

また、金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



温度調節ハンドルの設定方法

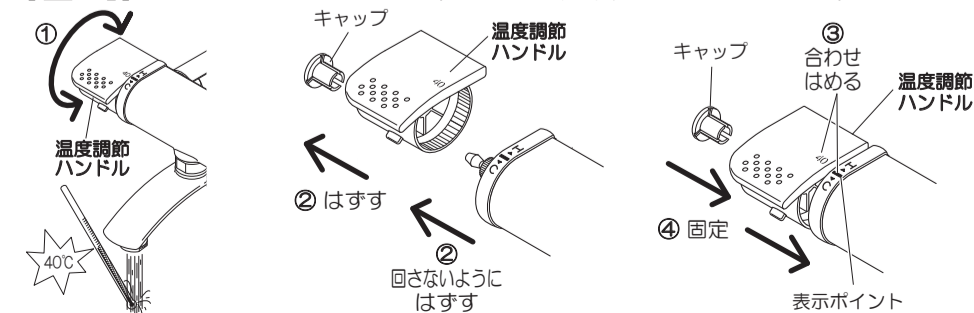
工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならない場合があります。温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とスれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

【お願い】設定する前に

- ・止水弁を全開にしているか確かめてください。
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください。
- ・常温給湯温度(50℃以上)の湯が給湯できているか確かめてください。

- ① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。
- ② キャップをまっすぐに引き抜いてはずし、温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ③ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。
- ④ キャップにて固定します。

【△ 注意】目盛は温度表示ではありません。目盛は温度調節の目安としてください。



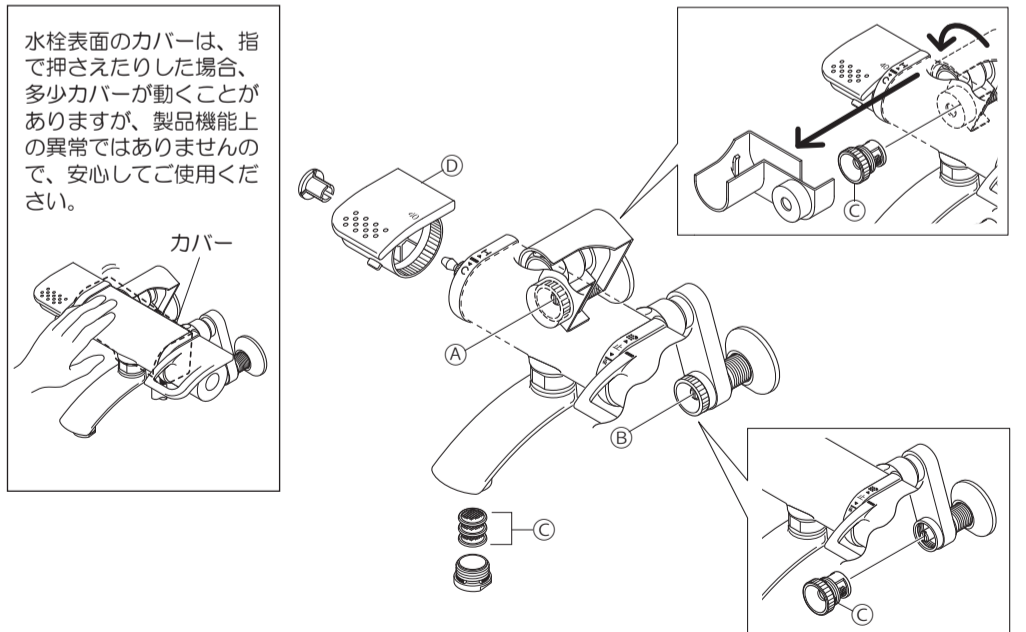
7

故障かなと思ったら…

次のような現象が出た場合は修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	処置	点検箇所
●吐水量が少ない	止水弁を開ける(止水弁の調節方法 参照)	(A)・(B)
	ストレーナを清掃する(ストレーナの清掃方法 参照)	(C)
	水圧を使用条件に合わせる(施工説明書の使用条件 参照)	給湯機
●高温しか出ない ●低温しか出ない ●目盛通りの湯が出ない	止水弁を開ける(止水弁の調節方法 参照)	(A)・(B)
	ストレーナを清掃する(ストレーナの清掃方法 参照)	(C)
	必要とする湯の温度より、給湯温度を10℃以上上げる 温度調節ハンドルのスレを直す(温度調節ハンドルの設定方法 参照)	給湯機 (D)
●シャワー吐水が不安定	熱源の温度を下げ(約60℃)、水側止水弁をしぼる(止水弁の調節方法 参照)	給湯機・(B)

水栓表面のカバーは、指で押さえたりした場合、多少カバーが動くことがありますが、製品機能上の異常ではありませんので、安心してご使用ください。



株式会社 KVK

本社・工場 / 〒501-1195 岐阜市黒野308 / TEL.058-239-3111 代表

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 東北支社 / TEL.022-225-3304 代表 | 茨城営業所 / TEL.0299-23-2021 代表 |
| 北関東支社 / TEL.027-324-2895 代表 | 東京営業所 / TEL.03-3981-4711 代表 |
| 関東支社 / TEL.03-3981-4711 代表 | 埼玉営業所 / TEL.048-688-6333 代表 |
| 中部支社 / TEL.052-566-1701 代表 | 西関東営業所 / TEL.045-983-5095 代表 |
| 関西支社 / TEL.06-6536-2828 代表 | 名古屋営業所 / TEL.052-566-1701 代表 |
| 札幌営業所 / TEL.011-863-1116 代表 | 北陸営業所 / TEL.076-260-6561 代表 |
| 仙台営業所 / TEL.022-225-3304 代表 | 大阪営業所 / TEL.06-6536-2828 代表 |
| 群馬営業所 / TEL.027-324-2895 代表 | 広島営業所 / TEL.082-876-3001 代表 |
| 東関東営業所 / TEL.028-633-7388 代表 | 福岡営業所 / TEL.092-411-3054 代表 |

補修用品の供給期間

この製品の補修用品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。

なお、補修用品のご購入については取付店・販売店または最寄りのKVK営業所にお問い合わせください。

8